



せい いく 成育小学校

郵便番号	536-0007
所在地	城東区成育1丁目5-19
電話番号	(06)6932-0061
FAX	(06)6932-6360
校長名	谷 淳



- 【概要】 校区は11町会(成育1～5丁目、関目1丁目の一部、中央2丁目、3丁目の一部)で構成されている。近年は他地域からの転入が多く、令和8年度は児童数794名、31クラス(うち特別支援学級は7クラス)である。
- 【教育目標】 校訓・育てたい子ども像「考える子」「協力する子」「強い子」
学校教育目標 「正しく判断し、自他のよさを認めあい、最後までやりぬく子どもを育てる」
- 【沿革等】 昭和24年に榎並小学校南分校として落成し、翌年成育小学校と改称された。校名を決めるにあたり3つの候補が挙げられ、その中から保護者が選んだ学校名が「成育」であった。

運営に関する計画《中期目標》

【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。
- 時間外勤務時間について、年600時間を超えて実施する教員をゼロにする。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

【令和7年度調査結果の概要】

	教科	国語	算数	理科
本校平均正答率	本校	71%	63%	60%

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

国語科と算数科、理科の3教科とも、平均正答率が大阪市平均及び全国平均を上回る結果となった。また、平均無回答率は、国語科と算数科が大阪市平均及び全国平均より低くなっており、回答に対する意欲がうかがえる。理科は、大阪市平均より1%上回ったが、全国平均より1%下回った。学習指導要領の内容・領域別正答率を見ると、3教科ともほぼ全ての領域(国語科:全6領域、算数科:全6領域、理科:4領域中3領域)において、平均正答率が大阪市平均及び全国平均を上回った。特に、国語科「書くこと」は、大阪市平均及び全国平均を7～10%上回った。

これまで「効果的な対話」を軸に研究を進めてきたが、今年度はその継続として、児童同士が互いを認め合い、励ましあえるような安心感のある対話(協働的な学び)を「温かなつながり」として位置付けている。この視点を全学年で共有し、日々の授業改善に努めることで、児童の思考力・判断力・表現力の向上につなげている。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

【令和7年度調査結果の概要】

	種目別平均値								
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	17.0	20.1	33.2	41.2	56.4	9.19	152.5	22.6	55.2
女子	15.1	17.9	36.0	37.8	41.5	9.55	146.7	12.0	53.4

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

現在も校舎建て替え工事により、運動スペースに制限があるため、児童の運動をする機会を増やすことを目指し、様々な取り組みを行ってきた。

運動委員会の児童を中心に、体育科の授業や休憩時間を活用し、「教室でできる柔軟運動」「場やルールを工夫したドッジボール」「みんなが楽しめる鬼遊び」を行った。また、体育科の授業の中で「縄跳びカード」「駆け足カード」等を活用し、児童の意欲を高められるような工夫も行ってきた。

さらに、令和6年度の結果と比べると、男女とも記録は大幅に向上している。児童の運動をする機会を増やす様々な取り組みや、学級・学年での体育学習等での様々な工夫によって、体力の向上が図れたと考えられる。

学校のアピールポイントなど



- 「わかった」の音が響く楽しい学校
すべての子どもが、考える楽しさ、わかる喜び、
満足感を味わえる学習指導に取り組んでいます。

目の前の新しい課題に対して、自分が今まで身につけてきた知識や技能を上手に利用し、自ら壁を乗り越え、解決していくという問題解決型の学習方法を進めています。

- 学校教育活動で具体的な観察・体験を大切にします。

抽象的な概念をそのまま受け入れるのではなく、自ら観察し体験することで初めて実感をもって理解できるようになります。また、その繰り返しの中で、物事の本質をつかむ力も養われます。

- 自ら挑戦する体験を大切にします。

自分の得意なこととさらに高い目標を定めて達成したり、逆に得意でないことにも積極的に取り組み、少しずつでもできるようになったりする体験を大切にします。例えば、その子どもにとって得意で楽しい活動で得た自信をそれ以外の活動に広げていくことが大切です。その積み重ねが、どんなに難しいことでも、自分にはやり遂げることができるという自負と強い気力を生み出します。

- 言葉の力を養います。

読書に親しむことや、自分の考えを他の人が理解できるように言葉で表現することを通じて、あらゆる思考の基礎となる読む力と書く力、さらに他の人との協働を可能にする聴く力と話す力を養います。

【学校HPより】



成育子ども見守りレモン隊の方々が、登下校の時間に合わせて、児童の見守りをしてくださっています。



運動会は、校舎改築工事により、蒲生グラウンドで実施しています。



修学旅行は、志摩スペイン村へ行きます。



5年生の宿泊行事は琵琶湖へ行きます。カヤックやカレー作り等の活動を行います。

学校案内図

(18ページもあわせてご覧ください)

